



浦安市とマラソンで市民ランナー交流

第27回東京ベイ浦安シティマラソンで市民交流 2月4日

災害時の相互応援協定の縁により始まった浦安市との市民交流事業で、2月4日の「第27回東京ベイ浦安シティマラソン」に下妻市民35名が招待され、10kmとハーフマラソンの部に挑戦し、参加者全員が完走。沿道の応援を受けながら走りを楽しんでいました。

10kmの部に夫婦で初参加した細谷祐子さん(下妻乙・本宿)は「気持ちよく走れた。夫婦のコミュニケーションが図れ、そろってゴールできてうれしかった。来年もまた参加したい」とゴールの感想を話してくれました。



スタート前に下妻PRする下妻市民ランナー

1月28日、雪がちらつく中、浦安市などから40人が参加して、都市農村交流を目的とした「いいな下ツアー」が開催されました。

イチゴ狩りや地元農家との交流、さん歩の駅サン・SUNさぬまでの昼食にピアスパークしもつままでの温泉入浴など、しもつまの魅力が盛りだくさんで、寒さに負けないツアーとなりました。今後も、市は都市部との住民交流を進め、下妻ファン増加に向けた取り組みなどが行われる予定です。

家族と参加した岡田明憲さん(8歳)は、「おもしろい形のイチゴがたくさんあって、見ていて楽しかった。味も甘くておいしかったです」とツアーの感想を話してくれました。



イチゴ狩りを楽しむ参加者

下妻の魅力を体感 浦安などから40人

「いいな下ツアー」開催 1月28日

公民館まつりで日ごろの成果を披露

第18回公民館まつり 2月17・18日



つるし雛作りを楽しむ参加者たち

千代川公民館で2月17、18日の両日、「第18回公民館まつり」が開催され、延べ1,000人が会場を訪れました。

展示コーナーでは公民館や市民センター各種教室の成果として陶芸やパッチワーク、つるし雛などの作品が数多く展示されました。

ステージ発表では、合唱やフラメンコ、琴の演奏など、公民館教室やサークルなどで練習を重ねた各種団体が日ごろの成果を披露しました。

つるし雛の体験をした60代の女性は「興味はあったが難しそうで遠ざけていた。意外と簡単で、彩りよくて楽しい」と笑顔で話し、作り方を教わりながら周りの人たちとの会話も楽しんでいました。

スポーツを通して深まる親子の絆

わいわいサッカー教室開催 2月12日



鬼ごっこで親子の絆を深める参加者たち

2月12日、市とつくばFC共催による「わいわいサッカー教室」がWaiwaiドームで開催され、31組62人の親子がサッカーを通して、約1時間、楽しく遊びながら親子の絆を深めていました。

教室では、つくばFCのコーチたちが参加者と一緒になって、ボールを使った鬼ごっこをしたり、親子で手をつなぎながらサッカーをしたりして、笑顔があふれていました。

参加した30代の女性は、「体を動かすことが少なかったので、親子でスポーツをする良い機会になった。運動量もちょうどいい感じだった。これからも親子で楽しめる教室などがあると嬉しい」と話してくれました。

自分たちの危険個所を知り自分たちで避難行動を考える

下宮地区防災イベント開催 2月4日

2月4日、茨城県住民避難力強化事業の防災イベントが、騰波ノ江地区(下宮)で開催されました。下宮地区は、土砂災害(特別)警戒区域に隣接しているため、新たに自主防災会(広瀬元二会長)を設立。地域の危険個所や避難行動などの情報共有を図りました。

イベントでは、地域住民24人が4班に分かれ、土砂災害に関する講義やグループワークが行われ、その後、地図上で危険箇所の把握や避難経路の確認を行い、避難のためのマイマップを作成しました。

広瀬会長は「東日本大震災当時の危機感が薄れつつある今、活発な意見交換ができた。大変有意義なイベントでした」と地域防災力強化の実感を話してくれました。



危険個所などを地図で確認する参加者たち

伝承される「いのちの音」子どもたちが伝統芸能を披露

子ども伝統文化フェスティバル開催 2月4日

伝統芸能の維持継承を目的とした県主催の「子ども伝統文化フェスティバル」が2月4日、下妻市伝統芸能保存連合会(大塚武彦会長)により下妻市文化会館で開催され、県内外から12団体が参加し、華やかな伝統芸能が披露されました。

開会のあいさつで大塚会長は少子高齢化による伝統文化の現状にふれ「若者もがんばっている。これからの50年の主役は、今日の子どもたち。みんなで応援してほしい」と会場を鼓舞し、伝統継承への思いを話しました。

市からは、高道祖はやしと大町はやしなどの子どもたちが参加。各地域の伝統芸披露されるたびに、軽妙な笛や太鼓の音に魅了された会場から、大きな拍手が送られていました。



まつり囃子を披露する子どもたち

演奏と絵あそびで1周年記念

「LOVEしもつまCAFE」開催 2月17日



食事と演奏を楽しむ参加者たち

まちづくり市民グループ「しもつま3高」の活動拠点でWaiwaiドームしもつまに隣接する「かふえまるCafe&studio」が開設1周年を迎えたことを記念して同グループ主催の「LOVEしもつまCAFE」が開催され、多くの市民などが演奏やガラス絵あそび、スイーツやドリンクなどを楽しんでいました。

記念を祝うイベントの市民ステージでは下妻AILE吹奏楽団12人の演奏などがされ、会場から拍手が湧いていました。

住谷辰夫会長は「1年が経ち次のステップへの芽吹きを感じている。これからもみんなで『楽しんでる』というメッセージを発信したい」と2年目へ向けた思いを語りました。



20周年記念誌とDVD

歴史を積み重ねて、地域の誇りに

ふるさとまつり連合渡御実行委員会は、千代川地区の各地域で継承されている神輿渡御や祭囃子が一堂に会して行われる連合渡御が20周年を迎えたことを記念して、2月1日にDVD付属で記念映像が楽しめる20周年記念誌を発刊。2月24日には同委員会主催の20周年記念式典が千代川公民館で行われ、記念誌の紹介と記念映像が上映されました。

安原春光実行委員長は「1つの区切りをつけることができた。これからも先輩たちから受け継いできた熱い想いを繋げていきたい」と感慨深く話してくれました。

記念誌は、図書館や公民館、観光交流センターさん歩の駅サン・SUNさぬまなどの市内公共施設に献本されました。